

令和7年度 コミュニティ・スクール推進校事業 会議録

会議の名称	蹉跎小学校学校運営協議会		
開催日時・公開等	令和7年	9月27日 ( 土 )	
会議の公開等	公開		(非公開理由)
開催事前告知	令和7年	8月25日 ( 月 )	校長室だより等で広く地域に周知を行った
開催後議事録等の周知	令和7年	10月3日 ( 金 )	ブログ等で広く地域に周知を行った
出席者	学校運営協議会 鈴木 康寛、稲岡 真弓、出川 由貴 校長 友田 充孝、教頭 中野 洋子、首席 CS担当 羽田野 勝治		
欠席者	0名		
案件名	1 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について 2 授業参観 3 学校の様子について		
提出された資料等の名称	資料① 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について		

会議内容

<p>1、開会のことば(校長より)</p> <p>2、令和7年度 全国学力・学習状況調査(校長より)</p> <p>○国語について</p> <p>昨年度と比較すると、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点において、わずかではありますが、全国平均を下回っています。特に、同音異義語の漢字の問題や問われていることに対して正しく解答できるかをみる問題において課題がみられます。</p> <p>一昨年度、昨年度に引き続き、「書くこと」の項目において、本校平均正答率(70.3%)が全国平均正答率(69.5%)を上回っています。授業の中で、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、考えの根拠を明らかにし、他者と互いの書いた文章を読み合せて意見を伝え合うなど、校内研究を中心とした学力向上の取組みの成果が見られる結果となりました。</p> <p>○算数について</p> <p>昨年度と比較すると、特に「測定」「変化と関係」領域等において、わずかではありますが、全国平均を下回っています。特に複数領域に係る使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために必要な情報を選択し、求め方を書く問題に課題が見られます。日頃の算数の授業において、問題を解決するために「図や式、言葉」を使って、自分の考えを分かりやすくまとめたり、「授業で学習したことを日常生活につなげる」場の設定を意識したり、「学び甲斐のある授業づくり」を進めています。</p> <p>「数と計算」の領域の複数の問題において、本校平均正答率が全国平均正答率を上回っています。特に棒グラフから項目間の関係を読み取る問題や小数の加法において、共通する単位をとらえる問題において解答できています。</p> <p>○理科について</p> <p>複数の領域において、全国平均を下回っています。特に、「生命を柱とする領域」のヘチマの花のつくりや受粉、花粉をみるための顕微鏡の操作方法、発芽の条件などをみる問題において課題が見られます。</p> <p>「粒子を柱とする領域」の水の温まり方について、調べる実験や温度によって水の状態が変化するという問題等は、本校平均正答率が全国平均正答率を上回っています。特に実験結果を通して考察等、学びを深める授業において成果が見られる結果となりました。</p> <p>〈質問紙調査結果の概要〉</p> <p>一昨年度、課題として挙がっていた「自分には、よいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」などの項目の肯定的回答の割合はいずれも約90%で、昨年度から続き高い割合の結果となりました。学校として大切にしてきた「【めざす子ども像】自分を高める子・自分と向き合う子・他者とつながる子」を達成するために取り組んできた成果といえます。反面、気になることとしては、今年度から新しく加わった項目である「幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」が、全国の肯定的回答率よりも7ポイント低いものであったことです。「幸せとはどんなことか」を考える機会や「自分にとっての幸せ」を見つける活動を取り入れるなど「日常の中にある幸せ」に気づく力を育てることも日々の学校生活のなかで意識していきたいと思えます。</p> <p>3、学校の様子について</p> <p>(オープンスクールの授業の様子をみていただく)</p> <p>委員より:6年生がしっかりと、自分たちのやってきた取組をプレゼンできている。また、他のチームからの温かい拍手が、素晴らしい。どの授業についても集中力が高く、感激した。探究的な活動も各学年取り組んでおり、こういった過程が将来につながる大切な時間になる。その他、交通安全、防犯について、教職員の働き方改革についてお話があった。</p> <p>交通安全については、先日起こった登校中の事故(幸い大きなケガ等はなかった)にかかり、改めて、見守り体制や児童への安全指導について強化していく、各ご家庭にも改めて見守り等依頼。</p> <p>防犯については、さだ西小学校の廊下等に設置されている呼び出しベルシステムの導入ができないか検討中。高額なものであるため、地域、PTAへの依頼を考えている。</p> <p>教職員の働き方改革については、文科省の指針をもとに改めて、教職員の仕事について分類することや学校応援ボランティア「さだレンジャー」の協力依頼、「ほっとDAY」の取組等、「幸せな職場づくり」「子どもも大人も幸せに レッツグリップウェルビーイング」のもと業務改善を進めていきたいと考えている。</p> <p>4、今後の予定</p> <p>第3回を10月25日(土)に実施予定</p> <p>5、閉会のことば(会長より)</p>
--